



2013年2月13日

## 2012年12月期 決算概況(連結)

会社名 サントリーホールディングス株式会社 URL <http://www.suntory.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐治 信忠  
 問合せ先責任者 (役職名)広報部長 (氏名)濱岡 智 広報部 TEL (03)5579-1150  
 TEL (06)6346-0835

(百万円未満切捨て)

### 1. 2012年12月期の連結業績(2012年1月1日～2012年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2012年12月期	1,851,567	2.7	107,744	△5.6	103,061	△5.5
2011年12月期	1,802,791	3.5	114,161	7.0	109,026	8.1

	当期純利益		1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%
2012年12月期	36,631	△41.5	53	74	-	7.6	6.0	5.8
2011年12月期	62,614	56.4	91	71	91	68	14.3	6.6

(参考) 持分法投資損益 2012年12月期 553百万円 2011年12月期 122百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2012年12月期	1,727,963	533,697	29.4	744 31
2011年12月期	1,730,175	483,557	26.4	669 92

(参考) 自己資本 2012年12月期 507,797百万円 2011年12月期 456,376百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2012年12月期	130,107	△93,413	△100,211	228,110
2011年12月期	143,053	△79,787	66,931	288,126

### 2. 配当の状況

	年間	配当金総額(年間)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	円 銭	百万円	%	%
2012年12月期	11 00	7,504	20.5	1.6
2011年12月期	12 00	8,174	13.1	1.8

(注) 2011年12月期配当の内訳 普通配当10円 特別配当2円

### 3. 2013年12月期の連結業績予想(2013年1月1日～2013年12月31日)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	2,020,000	9.1	126,000	16.9	122,000	18.4	53,000	44.7	77	69

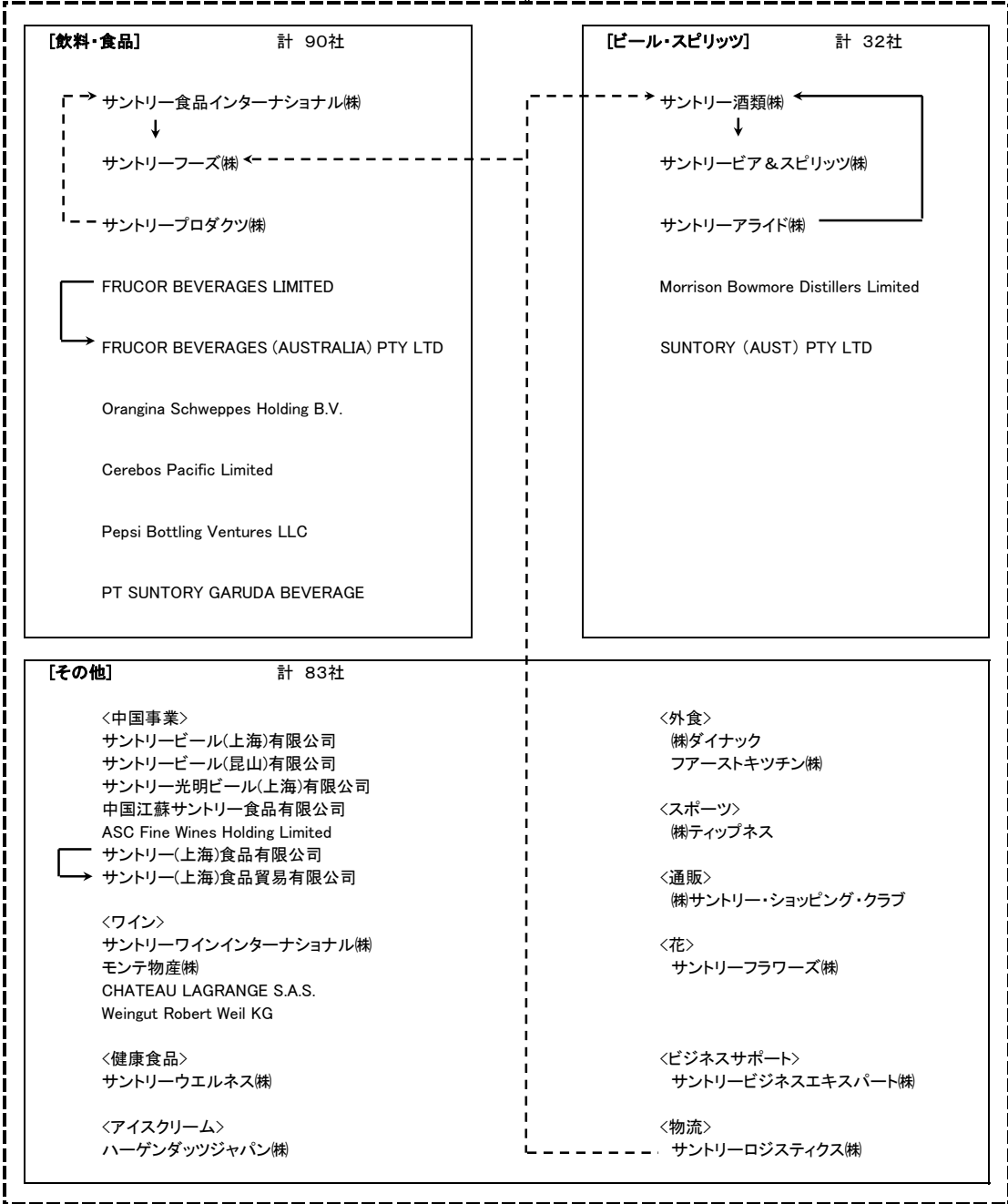
## 事業系統図

サントリーグループは、当社、子会社179社および関連会社26社より構成されています。主要な会社は次のとおりです。

※ 寿不動産㈱

サントリーホールディングス㈱(持株会社)

グループ全体の経営戦略の策定・推進、管理



製品・商品の販売  
 サービスの提供

- (注) 1. サントリービジネスエキスパート㈱は、機能会社として関係会社に間接業務サービスを提供しています。  
 2. ※は親会社です。  
 3. 無印は連結子会社です。

## 経営成績

### 1. 当連結会計期間の概況

当連結会計期間の世界経済は、一部地域で持ち直しの動きが見られたものの、長引く欧州債務危機を背景に減速感が広がりました。わが国経済についても、前半は緩やかな回復基調も見られましたが、後半に入り停滞感が強まりました。清涼飲料・酒類市場は、競合がいつそう激化するなど、厳しい環境となりました。

こうした中サントリーグループは、「ザ・プレミアム・モルツ」「BOSS」といった主要ブランドのマーケティング活動強化や、「オレンジナ」、「山崎」「白州」の発売など新たな需要の創出に向けた取り組みを積極的に展開しました。その結果、2012年12月期の業績は、売上高が過去最高の1兆8,516億円(前年同期比102.7%)となりました。利益は、前期会計処理上の特殊要因の影響を受け、営業利益1,077億円(前年同期比94.4%)、経常利益1,031億円(同94.5%)、当期純利益366億円(同58.5%)となりました。なお、前期会計処理上の特殊要因を除くと、当期の営業利益、経常利益はいずれも増益となりました。

#### 〈飲料・食品セグメント〉

サントリー食品インターナショナル(株)は、原材料市況悪化や為替相場の影響を受けたものの、コアブランドの強化やグループシナジーの創出など、積極的に事業活動を展開しました。SCM活動によるコスト削減を推進する一方で、将来を見据えたマーケティング投資や海外における事業基盤の強化を行いました。

国内事業は、20年連続前年同期を超える販売数量を達成しました。清涼飲料総市場は、前年同期比103%と推定される中、「BOSS」「サントリー天然水」などが好調に推移し、3億9,200万ケース(同103%)となりました。果汁入り炭酸飲料「オレンジナ」、機能性飲料「GREEN DA・KA・RA」、特定保健用食品のコーラ飲料「ペプシ スペシャル」と、独自の価値を持つ新商品を投入し、積極的なマーケティング活動を展開することで新たな需要の創出を行い、いずれも当初計画を上回る販売数量となりました。

国際事業では、FRUCOR BEVERAGES LIMITED、Orangina Schweppes Holding B.V.、Cerebos Pacific Limited等がコアブランドの強化に取り組みました。PT SUNTORY GARUDA BEVERAGEがサントリーブランドの緑茶飲料「みらい」をインドネシアで発売したほか、ベトナムにおいてはペプシコ社との飲料事業における資本提携の契約を締結するなど、東南アジアにおける事業基盤を強化しました。

以上の結果、飲料・食品セグメントの売上高は、9,844億円(前年同期比101.4%)となりました。

## 〈ビール・スピリッツセグメント〉

サントリー酒類(株)は、主要ブランドのマーケティング活動の強化に加え、新付加価値商品の投入やノンアルコール飲料市場における需要拡大を推進しました。

ビール事業は、総市場<sup>※1</sup>が前年同期並と推定される中、6,838万ケース<sup>※1</sup>(前年同期比105.8%)の販売数量に達しました。ビール類<sup>※2</sup>のシェアは、14.2%(課税出荷数量ベース)で過去最高となりました。3月にリニューアルした「ザ・プレミアム・モルツ」は、“華やかな香り”と“深いコクと旨み”に高い評価をいただき、9年連続で過去最高となる1,656万ケース(前年同期比110.4%)の販売を達成しました。新ジャンルでは、「金麦」「金麦<糖質70%オフ>」が、合計3,000万ケース超のビッグブランドに成長しました。「金麦」は2,626万ケース(前年同期比107.1%)と伸長、4月に発売した「金麦<糖質70%オフ>」は、上方修正後の年間計画400万ケースを突破しました。また、ノンアルコールビールテイスト飲料売上げNo.1<sup>※3</sup>ブランド「オールフリー」も、633万ケース(前年同期比107.7%)となり市場拡大に寄与しました。

※1 ノンアルコールビールテイスト飲料を含む ※2 ノンアルコールビールテイスト飲料を除く

※3 インテージMAI調べ ノンアルコールビールテイスト飲料

2012年1月～12月累計販売金額(全国スーパーマーケット/CVS/酒DS計)

スピリッツ事業は、主要ブランドの強化と、新商品の発売や飲み方訴求などの新たな価値提案を行った結果、前年同期比104%となりました。

ウイスキーは、主要ブランドが好調に推移し、前年同期比103%となりました。「角瓶」は、飲用時の品質にこだわった営業活動や食との相性を訴求したマーケティング活動により、前年同期比111%と好調に推移しました。5月に発売した「山崎」「白州」の新商品が、20-30代を中心にユーザーを獲得し、「山崎」ブランド計で前年同期比127%、「白州」ブランド計で310%と大きく伸長しました。また、国際酒類コンペティション「インターナショナル・スピリッツ・チャレンジ(ISC)」において、「山崎18年」「白州25年」がウイスキー部門カテゴリー最高賞ダブル受賞というISC創設以来初の快挙を成し遂げるとともに、サントリー酒類(株)が「ディスティラー オブ ザ イヤー」を受賞するなど、サントリーウイスキーに対する評価がさらに高まりました。

RTDは、主要ブランドの育成・強化や新付加価値商品の投入により、4,287万ケース<sup>※4</sup>(前年同期比107%)と8年連続で過去最高の販売数量を更新し、市場を牽引しました。「-196°C ストロングゼロ」が前年同期比125%と大きく伸長したほか、「ほろよい」は新たな価値を持った商品を投入しました。ハイボール缶は、前年同期比108%と好調に推移しました。

拡大を続けるノンアルコール飲料市場では、「のんある気分」が304万ケース(前年同期比222%)と大幅に伸長しました。

リキュール・スピリッツは、伸長するラム市場に向け発売した「ブルガル」がご好評いただいたほか、カクテルの魅力を訴求するイベント「カクテルフェスタ」を新たに開催するなど、市場活性化に向けた活動を行いました。

※4 ノンアルコール飲料を除く

海外事業では、ジャパニーズウイスキーのさらなる浸透に向けた活動や、アジアを中心とした「ザ・プレミアム・モルツ」の販売を強化しました。また、Morrison Bowmore Distillers Limitedのシン  
モリソン ボウモア  
ル イロワイエ  
グルモルトウイスキーや、Louis Royer S.A.S.のコニャックが好調に推移しました。

以上の結果、ビール・スピリッツセグメントの売上高は、5,521億円(前年同期比105.4%)となりました。

### 〈その他セグメント〉

サントリー(中国)ホールディングス有限公司は、前年同期比107%の売上となりました。ビール事業では、プレミアム価格帯の「純生」やスタンダード価格帯の「超純」が伸長しました。また、さらなるビール事業の飛躍を図るため、中国のビール会社 チンタオ ビーチュウ グーフェン 青島啤酒股份有限公司と50%ずつ出資し合弁会社を設立する契約を締結しました。飲料事業では、コーヒー飲料「リッチ 利趣」や「烏龍茶」ブランドに加え新商品「ミューンチンヨウ 蜜香清柚」が好調に推移しました。

サントリーワインインターナショナル(株)のワイン事業は、前年同期比108%、うち国産ワインは109%、輸入ワインは106%となりました。国産ワインは、国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”が前年同期比160%と大幅に伸長しました。輸入ワインでは、氷を入れて楽しむ飲用スタイル“ロッシ ロック”が好評のカリフォルニアワイン「カルロ ロッシ」が前年同期比113%と伸長したほか、9月に発売したスペイン・フレシネ社のスティルワインも計画を大幅に上回りました。

サントリーウエルネス(株)は、「セサミン」シリーズや「グルコサミン&コンドロイチン」が堅調に推移したほか、スキンケア化粧品「F.A.G.E.(エファージュ)」などが好調で前年同期比106%と伸長しました。

ハーゲンダッツジャパン(株)は、定番のミニカップシリーズ「バニラ」「ストロベリー」「グリーンティー」に加え、新商品「チョコレートブラウニー」などがご好評をいただき、前期を上回りました。外食事業では、(株)プロントコーポレーション、井筒まい泉(株)などが好調に推移しました。

以上の結果、その他セグメントの売上高は、3,151億円(前年同期比102.1%)となりました。

なお、国内売上高は1兆4,683億円(前年同期比103.3%)、海外売上高は3,833億円(同100.4%)となりました。

当社は、創業以来、積極的に事業を展開するとともに、創業の精神である『利益三分主義』に基づき、文化・社会貢献、環境活動などにも取り組んでいます。また『水と生きる SUNTORY』というコーポレートメッセージのもと、社会と自然との共生を目指したさまざまな活動を展開しています。

東日本大震災の復興支援として、当期は新たに20億円の拠出を決定、これにより総額は63億円となりました。岩手県・宮城県の漁業復興のための追加支援や、水産高校を対象とした奨学金プログラムの実施、福島子ども支援NPO助成プロジェクト「フクシマススムファンド」設立などを行いました。

環境に配慮した容器包装の取り組みとして、メカニカルリサイクルによる再生PET樹脂を100%使用した“リペットボトル”を実用化し、さらに世界最薄のシュリンクラベルを開発するなど、省資源化を図りました。また、水源涵養を目的とするサントリー「天然水の森」は総面積約7,600haに達し、科学的な知見を取り入れながら、より質の高い森林整備を行いました。

## 2.次期の見通し

次期の世界経済は、依然として不透明な状況が続き、わが国経済は、個人消費の持ち直しが期待されるものの、競合の激化が予想され、経営環境は厳しさを増すものと予測されます。

当社は今後も社会と自然との共生を目指しながら、市場環境の変化に迅速に対応するとともに、グループ各社のシナジー拡大に取り組み、“グローバル総合酒類食品企業”としてさらなる成長と収益力の強化を図ります。

サントリー食品インターナショナル(株)は、2020年の売上高目標2兆円の達成に向けた中期計画の初年度として、グローバル成長の基盤となる、国内・国際事業両輪でのさらなる成長と収益構造の革新に取り組みます。

国内事業は、(1)「BOSS」「伊右衛門」「サントリー天然水」などの重点ブランドの強化(2)お客様のニーズを的確、迅速に捉えた新規需要の創造(3)自動販売機ビジネスの強化(4)SCM活動のさらなる推進を行います。

国際事業は、Orangina Schweppes Holding B.V.を中心にした“欧州”、FRUCOR BEVERAGES LIMITED を中心にした“オセアニア”、サントリー食品アジア社やその傘下の Cerebos Pacific Limited、PT SUNTORY GARUDA BEVERAGE などによる“東南アジア”を中心に積極的に事業を展開します。また、インドネシアでの事業拡大やベトナムでの飲料事業開始に加え、中東・アフリカ・ラテンアメリカ市場での事業開発を模索していきます。さらに、商品開発技術やブランドを国や会社の枠組みを越えて展開し、グループシナジーを創出していきます。

サントリー酒類(株)は、主要ブランドの活動強化に加え、ノンアルコール飲料の拡充や新たな飲用スタイルの提案を行うほか、海外における強固なビジネス基盤の確立を図ります。

ビール事業は、重点ブランド「ザ・プレミアム・モルツ」「金麦」「オールフリー」に加え、新商品「グランドライ」の活動を強力に推進し、市場のさらなる活性化を図ります。

スピリッツ事業において、ウイスキーは、プレミアムウイスキーの価値訴求活動を強化するとともに、引き続きハイボール市場のさらなる拡大を図るほか、バーボンウイスキーの活動を積極的に展開します。RTDは、マルチブランド戦略のもと定番ブランドを育成・強化するとともに、新付加価値商品の投入により需要拡大を図ります。また、氷入りのグラスに注ぐだけでカクテルなどの本格的な味わいが楽しめる“RTS(Ready To Serve)”タイプの新ブランドを発売します。

海外事業は、欧米でプレミアムウイスキーや「ミドリ」を、アジアで「ザ・プレミアム・モルツ」「角瓶」を展開します。グローバルブランド「ボウモア」「ルイ ロワイエ」の販売を強化していきます。

サントリー(中国)ホールディングス有限公司は、上海ビール事業において収益力強化を図るとともに、青島啤酒股份有限公司との合併会社を設立し、さらなる事業拡大を目指します。食品事業は、主要ブランドの拡大を図るとともに、積極的に新商品を投入していきます。

サントリーワインインターナショナル(株)は、“日本ワイン”のマーケティング活動を一層強化するとともに、引き続き「カルロ ロッシ」や「フレシネ」のブランド力強化を図ります。

これらの活動により、事業セグメント別の売上高は、飲料・食品セグメント1兆870億円(前年同期比110.4%)、ビール・スピリッツセグメント5,770億円(同104.5%)、その他セグメント3,560億円(同113.0%)を予定しています。

以上を総合して、全セグメントでさらなる成長と収益拡大を図り、2013年12月期の売上高は、2兆200億円(前年同期比109.1%)、営業利益1,260億円(同116.9%)、経常利益1,220億円(同118.4%)、当期純利益530億円(同144.7%)を予定しています。

※為替レートは1米ドル=90円、1ユーロ=120円、1シンガポールドル=73円を想定

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目 期 別	前連結会計年度 (2011年12月31日現在)		当連結会計年度 (2012年12月31日現在)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
( 資 産 の 部 )		%		%	
I 流動資産	772,293	44.6	753,283	43.6	△19,009
現金及び預金	288,134		228,128		△60,005
受取手形及び売掛金	249,785		265,659		15,873
商品及び製品	135,052		144,002		8,949
仕掛品	11,416		12,353		936
原材料及び貯蔵品	25,399		27,372		1,972
繰延税金資産	21,364		32,752		11,387
その他	42,089		43,957		1,868
貸倒引当金	△949		△942		7
II 固定資産	957,082	55.4	974,084	56.4	17,002
1.有形固定資産	393,024	22.8	420,228	24.3	27,203
建物及び構築物	125,975		129,909		3,934
機械装置及び運搬具	100,804		118,533		17,729
工具、器具及び備品	58,997		61,021		2,024
土地	83,175		85,964		2,789
建設仮勘定	8,464		8,482		18
その他	15,607		16,316		709
2.無形固定資産	366,016	21.2	380,531	22.0	14,514
のれん	342,390		354,632		12,242
その他	23,625		25,898		2,272
3.投資その他の資産	198,041	11.4	173,325	10.1	△24,716
投資有価証券	92,825		97,083		4,257
繰延税金資産	32,225		5,671		△26,553
その他	77,310		72,943		△4,366
貸倒引当金	△4,320		△2,373		1,947
III 繰延資産	800	0.0	594	0.0	△205
資産合計	1,730,175	100.0	1,727,963	100.0	△2,212

(注)

有形固定資産に対する減価償却累計額	638,607	662,825	24,217
-------------------	---------	---------	--------

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2011年12月31日現在)		当連結会計年度 (2012年12月31日現在)		増 減
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額
( 負 債 の 部 )		%		%	
I 流動負債	589,304	34.1	572,794	33.1	△16,510
支払手形及び買掛金	81,618		90,891		9,273
電子記録債務	100,745		93,001		△7,744
短期借入金	79,214		91,995		12,780
1年内償還予定の社債	45,000		14,300		△30,700
未払酒税	44,527		44,546		19
未払消費税等	8,658		9,682		1,023
未払法人税等	19,331		12,056		△7,274
未払金	95,478		100,575		5,096
未払費用	55,664		54,450		△1,213
賞与引当金	8,984		9,891		907
その他	50,082		51,403		1,320
II 固定負債	657,313	38.0	621,470	36.0	△35,842
社債	186,050		172,529		△13,521
長期借入金	352,645		318,021		△34,624
退職給付引当金	10,710		11,151		440
役員退職慰労引当金	355		351		△3
繰延税金負債	47,844		59,063		11,219
その他	59,707		60,354		646
負債合計	1,246,618	72.1	1,194,265	69.1	△52,353
( 純 資 産 の 部 )					
I 株主資本	515,340	29.7	523,894	30.3	8,554
資本金	70,000		70,000		—
資本剰余金	—		△20,582		△20,582
利益剰余金	449,352		477,809		28,456
自己株式	△4,012		△3,332		680
II その他の包括利益累計額	△58,964	△3.4	△16,096	△0.9	42,868
その他有価証券評価差額金	7,572		10,350		2,778
繰延ヘッジ損益	△31		1,902		1,933
為替換算調整勘定	△66,506		△28,349		38,156
III 新株予約権	50	0.0	—	—	△50
IV 少数株主持分	27,130	1.6	25,900	1.5	△1,230
純資産合計	483,557	27.9	533,697	30.9	50,140
負債純資産合計	1,730,175	100.0	1,727,963	100.0	△2,212



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 〔 自 2011年 1月 1日 至 2011年12月31日 〕		当連結会計年度 〔 自 2012年 1月 1日 至 2012年12月31日 〕		増 減
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額
		%		%	
I 売 上 高	1,802,791	100.0	1,851,567	100.0	48,775
II 売 上 原 価	898,223	49.8	923,270	49.9	25,046
III 売 上 総 利 益	904,568	50.2	928,297	50.1	23,729
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	790,406	43.9	820,553	44.3	30,146
販売促進費及び手数料	356,084		372,272		16,188
広 告 宣 伝 費	77,210		72,313		△4,897
運 搬 費 及 び 保 管 費	64,733		67,934		3,200
労 務 費	143,598		150,017		6,418
減 価 償 却 費	27,663		31,294		3,631
そ の 他	121,115		126,721		5,605
営 業 利 益	114,161	6.3	107,744	5.8	△6,417
IV 営 業 外 収 益	4,392	0.2	5,212	0.3	819
受 取 利 息	914		932		18
受 取 配 当 金	1,813		2,127		313
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	122		553		431
雑 収 入	1,541		1,598		56
V 営 業 外 費 用	9,527	0.5	9,894	0.5	366
支 払 利 息	7,916		8,288		372
雑 支 出	1,611		1,605		△5
経 常 利 益	109,026	6.0	103,061	5.6	△5,964
VI 特 別 利 益	4,513	0.3	1,371	0.1	△3,142
投 資 有 価 証 券 売 却 益	1,545		625		△919
受 取 補 償 金	1,042		260		△782
そ の 他	1,925		484		△1,440
VII 特 別 損 失	20,842	1.2	10,752	0.6	△10,090
固 定 資 産 廃 棄 損	4,351		4,763		412
震 災 関 連 費 用	6,509		3,097		△3,412
資 産 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額	2,623		—		△2,623
そ の 他	7,358		2,890		△4,467
税金等調整前当期純利益	92,697	5.1	93,680	5.1	983
法人税、住民税及び事業税	37,865	2.1	28,702	1.6	△9,162
法人税等調整額	△14,392	△0.8	21,071	1.1	35,463
少数株主損益調整前当期純利益	69,223	3.8	43,906	2.4	△25,316
少数株主利益	6,609	0.3	7,275	0.4	665
当期純利益	62,614	3.5	36,631	2.0	△25,982

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 〔自 2011年 1月 1日 至 2011年12月31日〕	当連結会計年度 〔自 2012年 1月 1日 至 2012年12月31日〕
		金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前当期純利益		92,697	93,680
減価償却費		50,174	54,398
のれん償却額		21,278	20,513
受取利息及び受取配当金		△2,728	△3,060
支払利息		7,916	8,288
有価証券等の評価損益及び売却損益(△は益)		△614	△221
固定資産廃棄損		4,351	4,763
固定資産売却損益(△は益)		△1,046	△115
売上債権の増減額(△は増加)		△8,165	△8,783
たな卸資産の増減額(△は増加)		△10,305	△4,586
仕入債務の増減額(△は減少)		△1,670	273
未払酒税及び未払消費税等の増減額(△は減少)		2,266	672
その他		27,850	6,078
小計		182,003	171,904
利息及び配当金の受取額		3,328	3,838
利息の支払額		△8,056	△8,373
法人税等の支払額		△34,221	△37,262
営業活動によるキャッシュ・フロー		143,053	130,107
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入による支出		△5	△6
定期預金の払戻による収入		264	2
有価証券の売却及び償還による収入		8	335
短期貸付金の増減額(△は増加)		204	△12
有形及び無形固定資産の取得による支出		△57,109	△71,423
有形及び無形固定資産の売却による収入		2,876	721
投資有価証券の取得による支出		△4,158	△994
投資有価証券の売却及び償還による収入		6,407	2,601
子会社株式の取得による支出		△1,924	△23,702
その他		△26,350	△934
投資活動によるキャッシュ・フロー		△79,787	△93,413
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金及びコミューナル・ペーパーの増減額(△は減少)		△7,283	20,570
長期借入れによる収入		145,928	3,688
長期借入金の返済による支出		△74,474	△63,170
長期預け金の減少額		1,673	—
社債の発行による収入		21,387	—
社債の償還による支出		△1,646	△45,000
リース債務の返済による支出		△2,462	△3,452
配当金の支払額		△6,184	△8,174
少数株主への配当金の支払額		△6,242	△5,554
その他		△3,766	881
財務活動によるキャッシュ・フロー		66,931	△100,211
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△1,195	3,501
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		129,001	△60,015
VI 現金及び現金同等物の期首残高		159,044	288,126
VII 非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額		80	—
VIII 現金及び現金同等物の期末残高		288,126	228,110

## セグメント情報

### 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能で、経営陣が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は持株会社制を導入して、持株会社の当社の下、製品・サービス別の事業分野別に事業会社等を設置しています。各事業会社等は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは事業会社等を中心とした製品・サービス別のセグメントから構成されて、「飲料・食品事業」、「ビール・スピリッツ事業」の2つを報告セグメントとしています。

各報告セグメントと「その他」の区分に属する主な製品・サービスの種類は以下のとおりです。

飲料・食品……………清涼飲料、健康飲料、加工食品 他  
 ビール・スピリッツ……………ビール類、ウイスキー、焼酎、RTD 他  
 その他……………中国事業、ワイン、健康食品、アイスクリーム、外食、スポーツ、花 他

### 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2012年1月1日 至 2012年12月31日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	ビール・スピリッツ	その他	計	調整額(注)1	連結財務諸表計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	984,372	552,057	315,137	1,851,567	—	1,851,567
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,852	2,626	11,613	21,091	△ 21,091	—
計	991,224	554,683	326,750	1,872,659	△ 21,091	1,851,567
セグメント利益	76,709	31,783	29,226	137,719	△ 29,975	107,744

前連結会計年度(自 2011年1月1日 至 2011年12月31日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	ビール・スピリッツ	その他	計	調整額(注)1	連結財務諸表計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	970,589	523,692	308,509	1,802,791	—	1,802,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,070	1,921	11,178	20,170	△ 20,170	—
計	977,660	525,614	319,687	1,822,962	△ 20,170	1,802,791
セグメント利益	88,081	29,569	25,540	143,191	△ 29,030	114,161

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、当社において発生するグループ管理費用です。それぞれの金額は次のとおりです。

当連結会計期間  
 セグメント利益の調整額 △ 29,975 百万円  
 各報告セグメントに配分していない全社費用 △ 30,053 百万円  
 セグメント間取引消去 78 百万円

前連結会計期間  
 セグメント利益の調整額 △ 29,030 百万円  
 各報告セグメントに配分していない全社費用 △ 29,030 百万円  
 セグメント間取引消去 0 百万円

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

### 3. 地域ごとの売上高の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2012年1月1日 至 2012年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	海外			海外計	合計
		欧州	アジア・オセアニア	米州		
売上高	1,468,313	137,890	175,112	70,251	383,253	1,851,567
連結売上高に占める比率	79.3%	7.4%	9.5%	3.8%	20.7%	100.0%

前連結会計年度(自 2011年1月1日 至 2011年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	海外			海外計	合計
		欧州	アジア・オセアニア	米州		
売上高	1,421,185	144,147	167,918	69,540	381,606	1,802,791
連結売上高に占める比率	78.8%	8.0%	9.3%	3.9%	21.2%	100.0%

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっています。  
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)欧州……………ヨーロッパ諸国  
 (2)アジア・オセアニア……………アジア及びオセアニア諸国  
 (3)米州……………北米及び中南米諸国